みなみいず 町議会だより

No. 61 号
2015年
平成27. 5. 15

発行／南伊豆町議会　編集／議会広報編集委員会　〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E－mail：gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp

青野川河畔にて

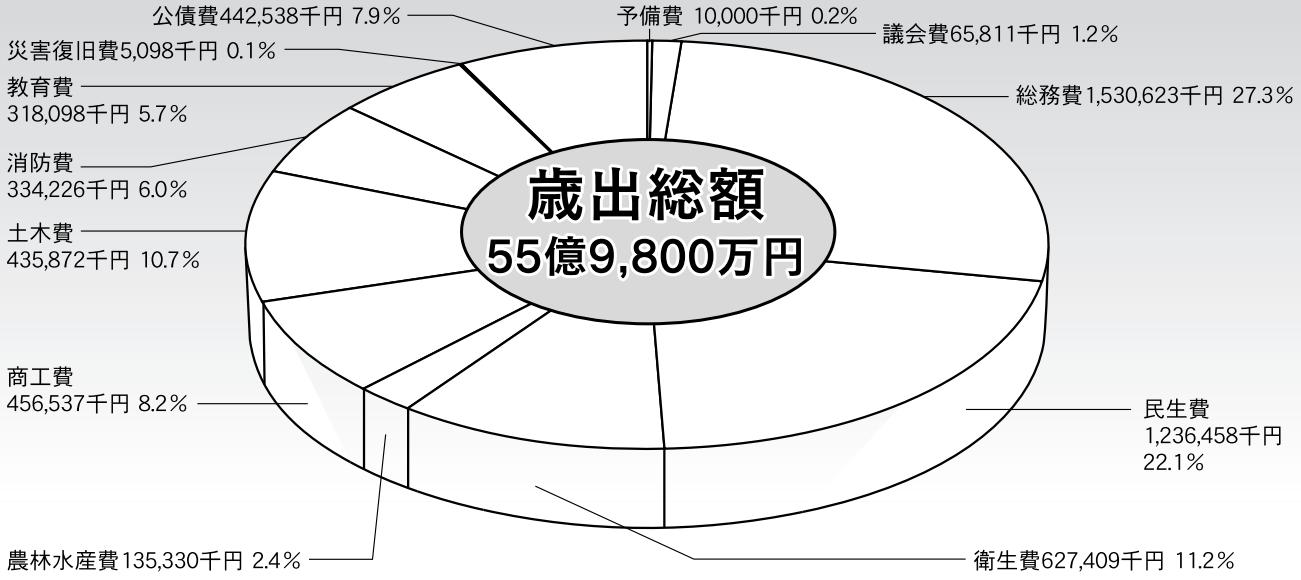
３月定例会を２月24日から３月13日まで18日間の会期で開催しました。

主な内容

● ３月定例会 ……2～4
● 予算決算常任委員会審議内容 ……5～9
● 一 般 質 問 ……10～15
● 議会一口メモ、くろ潮 ……16

会計予算成立　総額96億5,133万4千円

●防災・減災・経済・鳥獣害対策に配慮



※小数点第2位四捨五入

①人事案件

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

南伊豆町下賀茂201番地　渡邊　芳男　氏

全員賛成で同意

②条例制定・改正

▼南伊豆町課設置条例の一部を改正する条例制定について

全員賛成で可決

▼南伊豆町附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について

全員賛成で可決

▼南伊豆町行政手続条例の一部を改正する条例制定について

全員賛成で可決

▼南伊豆町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

全員賛成で可決

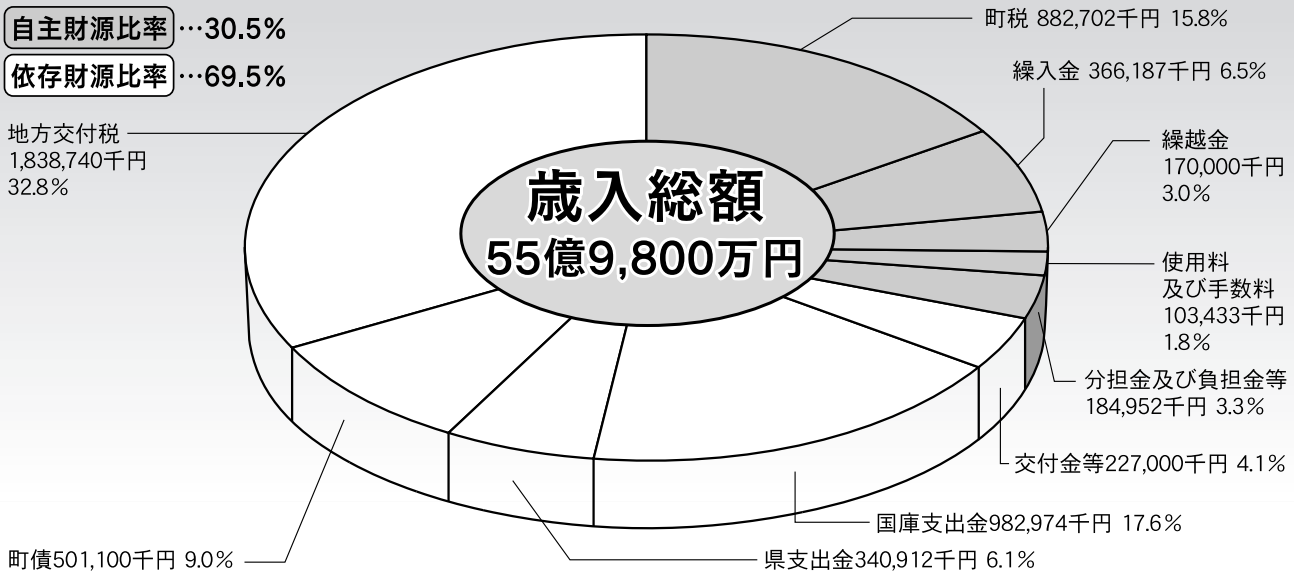
▼南伊豆町介護保険条例の一部を改正する条例制定について

賛成多数（反対1人、賛成8人）で可決

▼南伊豆町防災委員設置条例の一部を改正する条例制定

平成27年度　一般会計・特別会計・水道事業

■一般会計……　55億9,800万円（前年比＋30.7％）



■特別会計（11会計）……　35億1,738万6千円（前年比＋9.4％）

■水道事業会計……　5億3,594万8千円（前年比＋22.5％）

③第一常任委員会

▼南伊豆町立認定こども園条例の全部を改正する条例制定について　全員賛成で可決

▼南伊豆町放課後児童クラブ条例制定について　全員賛成で可決

▼南伊豆町いじめ問題対策連絡協議会等条例制定について　全員賛成で可決

▼南伊豆町環境基本条例制定について　全員賛成で可決

▼南伊豆町立認定こども園条例の全部を改正する条例制定について　全員賛成で可決

▼南伊豆町放課後児童クラブ条例制定について　全員賛成で可決

▼南伊豆町いじめ問題対策連絡協議会等条例制定について　全員賛成で可決

▼南伊豆町環境基本条例制定について　全員賛成で可決

④予算決算常任委員会

▼**一般会計予算**
○総務・福祉・教育分野　○民生・衛生分野　○産業・土木分野
賛成多数（反対2人、賛成7人）で可決

▼**特別会計**
○国民健康保険　○南上財産区　○南崎財産区　○三坂財産区
○土地取得　○公共下水道　○子浦漁業集落排水事業
○中木漁業集落排水事業　○妻良漁業集落排水事業
全員賛成で可決
○介護保険　○後期高齢者医療
賛成多数（反対1人、賛成8人）で可決

▼**水道事業会計**
○上水道・簡易水道分野
全員賛成で可決

⑤意見書・発議・その他

▼**南伊豆町議会委員会条例の一部を改正する条例制定について**
原案のとおり可決

▼**奨学金制度の充実を求める意見書について**
原案のとおり可決

▼**指定管理者の指定について（南伊豆町営温泉銀の湯会館）**
全員賛成で可決

▼**指定管理者の指定について（弓ケ浜温泉公衆浴場）**
全員賛成で可決

一般会計・特別会計・水道事業会計補正予算可決

※3月補正予算は年度末で各種事業等の確定によるものです。

■一般会計……▲68,038千円
（全員賛成）

■特別会計……▲55,905千円
（全員賛成）

- 国民健康保険……▲12,493千円
- 後期高齢者医療……▲1,576千円
- 公共下水道事業……▲50,666千円
- 妻良漁業集落排水事業……▲561千円
- 介護保険……10,846千円
- 土地取得……▲785千円
- 中木漁業集落排水事業…▲670千円

■水道事業会計……
- 収益的収支……▲8,655千円
- 資本的収支……1,006千円

（全員賛成）

予算決算常任委員会審議内容

第1款・議会費、第2款・総務費・第8款・消防費及び関連歳入について

問　庁舎補修等工事についての質問がなされた。

答　不測の事態が起こった時のための予算化です。

問　再任用短時間職員についての質問がなされた。

答　25年以上勤務した60才以上の者を再任用として雇用したいと考えます。

問　町政アドバイザー報酬、法律相談委託料、訴訟代理人業務委託料について、昨年度の実績も含めて質問がなされた。

答　町政アドバイザー報酬専門知識のある方からのアドバイスをいただくために、4’500円の10回分として、法律相談委託料、訴訟代理人業務委託料は顧問弁護士費用として予算化しています。昨年度は町政アドバイザー報酬は使用しておらず、訴訟代理人業務委託料は1件案件がありました。

問　固定資産税台帳整備委託料についての質問がなされた。

答　町有財産等を整備するための委託料であり、平成29年度の法改正のためのもので、デジタル化の話ではありません。

問　たばこ税に関して喫煙所設置についての質問がなされた。

答　分煙社会のことも勘案して設置は検討していきたいです。

問　まち・ひと・しごと創生総合戦略について、町長はどう考えるか。

答　「消滅可能性の高い町」に入ってしまっているが、「ワープステイ構想」や「100人委員会」等からヒントを得て、雇用確保して人口減少を抑制する方法を検討したい。

問　地方創生のためには、東京への一極集中、非正規雇用問題の解決等、抜本的な改革が必要と思うが、町長はどう考えるか。

答　常々言っていますが、政治の下部構造には経済が土台になっているわけであり、経済を安定させることが、まずは重要だと考えます。東京への一極集中に関しては、雇用の安定した住みやすい場所がそこになるのが理由だと思います。安定した生活を確保できる場所があれば、人は集まってくるものと感じています。今まで日本がやってきたことは、おおよそは間違っていなかったと思っており、里山資本主義も理解はできますが、エネルギー消費が増えていくことも現実です。

問　まちづくり研修補助金についての質問がなされた。

答　町民の方々が自発的に行う先進地視察研修への補助金です。昨年の実績はありませんでした。

問　地熱資源開発調査業務委託料についての質問がなされた。

答　損害が生じた場合の補償は委託業者と話を詰めていく予定です。因果関係については町側が調査する予定です。条例までは必要ないと考えます。

問　地熱資源開発調査業務に関する資料の提出を求める。

答　資料は予算承認されてから作成するわけですから、現在はありません。

問　前回の申請で提出した資料も出せないのか。

答　それは既に議会で承認されている案件であり、来年度の予算委員会の中で要求するのはいかがなものかと思います。

問　6億を超える予算が計上されているのに、資料を提出せずに議論するのか。

答　6億を超える予算は来年平成27年度の内容であり、それについては先ほど説明しました。議員が要求しているのは既に議会で承認された平成26年度の内容の資料提出です。

問　過去の資料でも出すべきだ。

答　過去の資料でもよろしければ出します。

問　温泉組合の同意書はあるのか。

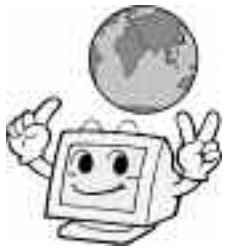
答　平成26年3月4日の同意書はあります。平成27年度は内諾を得ています。

問　キャップロックの存在が確認されなかったということは、適合地ではないという証明ではないか。

答　憶測で話すのはいかがなものかと思います。

問　メール配信システムについての質問がなされた。

答　役場庁舎に来た人には、直接教えている。成人式の時などもPRしている。



問　津波避難ビル、自主防災補助金についての質問がなされた。

答　非常用食料、避難ビルの外階段等に補助させてもらっております。

問　防災士や無線従事者の養成への補助金についての質問がなされた。

答　役場職員で資格を取らせております。今のところ要望はありませんが、検討しておきます。

第3款・民生費、第4款・衛生費・第9款・教育費及び関連歳入について

問　土地取得費について質問がなされた。

答　前回と同じ箇所が対象地であり、取得費用は前回よりも下がっております。

問　在宅高齢者等食事サービス事業委託料、在宅高齢者等生きがい活動支援通所事業委託料への質問がなされた。

答　在宅高齢者等食事サービス事業は、一食500円で40食までとなっております。在宅高齢者等生きがい活動支援通所事業は、下賀茂公民館をサロン的に使用している。

問　肺炎ワクチンについては一度しか補助はないのか。

答　任意接種で5年有効です。1回目のみ補助対象としております。

問　備品購入費について質問がなされた。

答　自動車の購入費になるわけですが、現在使用しているものは平成9年度に購入したもので通常の耐用年数は経過しており、今回予算計上させてもらいました。

問　共立湊病院跡地の草刈りはどうなっているのか。

答　有志の方々でやってもらっていると聞いているが、関係市町で話します。

問　教育資金利子補給補助金への質問がなされた。

答　高校、大学の教育ローンへの利子補給です。9月の前期分で6件の申請がある。年度途中の広報誌でお知らせしたこともあり、現在でも問い合わせが増えている状況です。

問　規制や限度額はあるか。

答　最初の交付決定から5年間であり、南伊豆町民であること、世帯年収が1,000万円を超えてはならないこと、税金の滞納がないことが原則です。限度額はありません。

問　少子化が続いていることもあり、高等学校まで義務教育になるような話は出ていないか。

答　そのような話は出ていません。個人的には高等学校が義務化するのではないかと思ったこともありますが、実際にはありません。

問　南中小学校の施設修繕費について質問がなされた。

答　照明器具の交換です。本年度は南伊豆東中学、その前は南伊豆中学です。市町村振興事業の補助金が続く限りは順番でやっていきます。

問　三浜小学校が行っていたカッターレースへの質問がなされた。

答　カッターレースは三浜小学校があった時のようには続けることはできません。

問　杉並区との交流と同じくらいに横浜市との交流も深めてはどうか。

答　横浜市との交流も今後深めていきたいです。

問　野生獣対策電気柵設置への質問がなされた。フェンスの囲いをしっかりやるべきであるが、想定は猪なのか。

答　学校側でも柵の設置について勉強したい。猪だけでなく、鹿対策も検討していきたいです。

第5款・農林水産業費、第6款・商工費、第7款・土木費及びその関連歳入について

問　海岸保全施設整備事業について質問がなされた。

答　町営漁港の今後の整備改修のための調査を行うための予算です。

問　農山村総合施設管理費への質問がなされた。

答　農業の基本は食料自給ですが、当町の農業者規模から勘案するには観光との結びつきも重要だと思います。山林整備ではバイオマス発電所等も視野に入れて、里山保全にも力を入れていきたい。

問　農業振興全般に関してですが、荒れた農地、耕作放棄地等の草刈りや管理について、どう考えるか。

答　耕作放棄地は空き家と同様に困った問題です。自己管理できない案件に関しては、税金等でのペナルティーも検討しなければいけないのかもしれないとも考えます。就農者が増えるように、民間企業で運営してくれることがあれば、ありがたいのですが。

問　耕作放棄地については農業振興会がもっと管理方法を考えるべきだと思う。ボランティアの草刈りを募るばかりでなく、これ以上問題が大きくならないように抜本的な問題解決を考えるよう町から働きかけていただきたいが、いかがか。

答　区や地域で調査してもらい、地主への注意をお願いしたい。

問　遊休農地美化業務委託料への質問がなされた。日野と吉祥での面積とコストでのバランスはいかがか。

答　遊休農地利用の日野は5ha吉祥体験農園実施面積は721㎡です。吉祥は体験農園以外の維持費にも費用がかかっています。

問　妻良地区観光施設設計業務委託料への質問がなされた。

答　公衆トイレの整備に関する設計です。元の公民館跡地につくりたいと思っています。

問　弓ヶ浜のスプラッシュウォーターの補填があったと聞いているが、いかがか。

答　悪天候によって湊地区から依頼があったので補填は行ったが、今後は自立した運営を行ってもらうつもりです。

問　公衆浴場管理事務の土地貸借料への質問がなされた。

答　貸借料に関しては買収の費用に変わっております。事務的な都合で後から買収の話が出てきたので、このような表記になっております。

問　銀の湯会館改修工事と指定管理業者についての質問がなされた。

答　指定管理業者は今までと変わらず、改修費については利用者料金から1人30円ずつ徴収して、その費用に充てる方式を予定しています。

問　さくらの今後の保全については、どう考えているか。

答　さくら部会とのシンポジウム等開催して話を進めている。手入れが良ければ100年維持できるという話も聞いています。アニメとさくらのコラボも検討中です。

問　湯の花観光交流館指定管理委託料に関して、道の駅としての運営方法に疑問がある。観光客が多い正月に休業していたようだが、改善できないものか。

答　同様の内容を多くの人から聞いている。観光協会で改善を検討中で、コーヒーと軽食程度の休憩室的なスペースの案が上がってきています。「重点道の駅」にもなりましたので、改善していきます。

問　バスと自家用車の台数の比率はどうなっているのか。他所の観光地にも河津桜は出回っており、ライバルは増えるばかりで心配です。

答　バスの台数は減っています。理由は運転手の労働条件が変更したこともあります。他所の観光地の河津桜が成長し、そろそろ見頃になってきており、ライバルは増えてくると思います。イベント等で来客数の囲い込みを考えていきます。

問　「みなと桜」という花もありますので、活用してほしい。

答　観光対策として検討します。

問　観光交流館の年末年始の開店については、地元の生産者からも要望が出ている。大規模の農業者とは事情が違うので、やはり店は開けてもらいたいがいかがか。

答　改善を検討します。

問　九州でも河津桜を利用したまつりが開催されている。全国に出回ってしまった河津桜ですから、今後の展開は考えておかないと、いつまでもお客さんは来ないと考えますが、いかがか。

答　現在の青野川沿いの桜だけでなく、町有地にも花を植えて観光スポットを増やしていけるよう検討します。

問　南伊豆・下田がんバル事業への質問がなされた。

答　平成27年度は11月29・30日に開催予定です。町内で38店舗を予定しており、全体では160店舗が参加する予定です。

問　夏期対策事業費負担金への質問がなされた。

答　夏の海水浴場を運営する地区への経費補助です。弓ヶ浜のライフセイバー配置のために200万円程度、妻良・子浦・落居等については5万円から10万ずつを補助しております。

問　伊豆半島ジオパーク関連で「認定」と「推進」との違いは何でしょうか。

答　伊豆半島ジオパーク認定事業負担金は世界認定に向けた協議会への負担金が主な内容です。伊豆半島ジオパーク構想推進事業費等補助金は奥石廊のあいあい岬の運営経費です。

問　青野川利活用観光活性化事業補助金への質問がなされた。

答　「夜桜☆流れ星」への補助金です。今年で3回目なので客数減少は否定できない。今後、検討していくつもりです。

問　温泉保護調査業務委託料への質問がなされた。

答　町内110全ての源泉について調査を行っています。

問　スマートフォンを利用した観光戦略についての質問がなされた。

答　地方創生予算を活用し、弓ヶ浜海岸へのWi-Fiポイント設置等、予定しております。

問　伊勢海老号のグレードアップは考えているか。

答　来年度の伊勢海老号については、別の方法で考えています。JRの関係で旅館5社だけしか対応できない企画になっています。民宿や他の宿泊施設にもお客さんを送り込める企画を検討中です。

問　住宅リフォーム振興事業補助金への質問がなされた。

答　空家バンク補助金との性質は異なるので、担当課と相談していきたい。

問　橋梁維持事業の橋の場所についての質問がなされた。

答　橋の場所が建設課長から説明がなされた。

問　町営住宅の家賃滞納についての質問がなされた。

答　実際には2年以上滞納の方もいますが、支払い計画を提出してもらっております。基本的には3ヶ月滞納で退去を促しています。

特別会計予算
水道事業会計予算

議第23号
■平成27年度南伊豆町国民健康保険特別会計予算について
議第24号
■平成27年度南伊豆町介護保険特別会計予算について
議第25号
■平成27年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計予算について

問　南伊豆町国民健康保険特別会計予算についての質問がなされた。

答　南伊豆町は県下35市町の中でも下の方です。今後、国庫の負担割合を増やしてもらって、保険料負担を軽くする政策を考えていきたいです。

問　人間ドッグ補助についての質問がなされた。

答　町民からの声もあり100名を見込んで実施する予定です。上限は25,000円で40才から75才未満で国保の滞納金が無いことが条件です。役場で予約してもらうことになると思います。

問　脳ドッグ補助についての質問がなされた。

答　人間ドックと同様に検討はしていました。近隣市町の事例を参考にしながら、検討していきます。

問　南伊豆町介護保険特別会計予算について質問がなされた。

答　制度の継続のためにも、介護報酬額が変わっていくのは受け入れざるを得ないが、サービスが低下しないように心掛けていきます。

議第26号
■平成27年度南伊豆町南上財産区特別会計予算について
議第27号
■平成27年度南伊豆町南崎財産区特別会計予算について
議第28号
■平成27年度南伊豆町三坂財産区特別会計予算について
議第29号
■平成27年度南伊豆町土地取得特別会計予算について

問　土地取得別会計について質問がなされた。

答　差田グランド横の土地は、ほこら53㎡以外の2筆の約2,300㎡は買収完了しています。川が蛇行していて使いにくいということもありますが、有効利用を検討していきます。

問　公共用地取得費について質問がなされた。

答　平成27年度の土地取得予定はないので、「0」となっています。

議第30号
■平成27年度南伊豆町公共下水道事業特別会計予算について
議第31号
■平成27年度南伊豆町子浦漁業集落排水事業特別会計予算について
議第32号
■平成27年度南伊豆町中木漁業集落排水事業特別会計予算について
議第33号
■平成27年度南伊豆町妻良漁業集落排水事業特別会計予算について

問　南伊豆町公共下水道事業特別会計予算について質問がなされた。

答　3m程の汚泥が発生しており、10tダンプ10台程度で処分するものであります。減免措置もとり11件加入が増えています。今後も加入率を増加させていくよう努力していきます。

問　クリーンセンター改修更新実施設計業務について質問がなされた。

答　耐震基準に合致していないので改修が必要です。

問　平成9年に着工した建物が平成7年の耐震基準に合致していないのは、おかしいのではないか。

答　平成12年の建築基準に照らし合わせた結果、基準を満たしていないので監修工事が必要ということです。

問　水道施設についての耐震に関しての質問がなされた。

答　全体的に耐震補強した時と、施設全体を見直した時との財政的なことも勘案して、今後検討していきたいです。

議第34号
■平成27年度南伊豆町水道事業会計予算について

問　簡易水道に関しての質問がなされた。

答　地区簡易水道が9地区ある中で、平成26年度は、妻良簡易水道にて施設の改修工事を実施しました。平成27年度につきましては、現時点にて要望がありませんので「0」とさせていただきました。

一般質問

町長に聞きました

長田美喜彦 議員

ふるさと納税について

質問　西伊豆町では、寄付金が1月の初めに3億5,000万円に達したと聞きました。礼品として特産品の干物セットや伊勢海老などの海産物の人気が高いのを初め、宿泊施設で使えるまちふるさと納税感謝券など、60種類の礼品があるとのこと。礼品は町の括性化にもつながり大変に良い事だとは思います。我が町では現在どの程度の寄付金があり、どの程度の礼品を用意しているのか。

町長　本町のふるさと給付は、改善を重ねて本年度の寄付金額は1月末現在で、2,580万円となり、昨年度の寄付額600万円余の4倍強まで増加いたしました。ふるさと給付は南伊豆町を全国に売り出すよい機会でもありますので、常に改善を重ねて全国に南伊豆町のファンをふやしていきたい。

町有地利活用について

質問　吉祥町有地への利用計画提言書が出されたが町の考えは、又今後どのように進めていくのか。

町長　公募を含めた26人のメンバーとファシリテーター5人の町職員により、非常に熱心な協議、検討を重ね、提出いただいた提言書については、ファシリテーターの職員を中心に精査した上、整理しており、庁内での協議、検討を経た後にできることから実行をしていきたい。

質問　石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画の進捗状況は。

町長　木下教授の指導のもとに第二次ワークショップを開催し、計画策定作業を進めているところであり、これと誰もが行きたくなる石廊崎を念頭に置いた石廊崎の雄大な自然を生かした計画として、石廊崎区民も交えたワークショップを開催しつつ、趣向を凝らした検討を重ねている。

質問　三浜小学校跡地施設の利用検討会議はどのよう進めているのか。

町長　庁内会議を重ね利活用方法として18案が提案されました。案件の中で、コミュニティ施設、福祉施設、防災施設、等、さまざまなものがありましたが、実現に当たりまず重要視したことは防災面であり、校舎の一部を防災倉庫としています。現在は福祉施設として活用し、認知症カフェ事業の実施をしています。

少子化について

質問　少子化の問題で、前に支援への質問をしましたが、その中で町長の答弁は、県は安心して子供を産み、育てられる環境整備を図るため、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組むと答えました。現在は国、県が今まで以上に支援に力を入れていくと言っておりますが、そこでリスクを伴う出産は遠方への通院費がかかるとのこと、通院への支援の考えは。

町長　人口減少問題を止めていくには、若い世代の出産という事は非常に重要な問題となってこようかとおもいます。積極的に検討してまいります。

加畑　毅 議員

「地方創世」への主体的な関与について

質問　昨年5月8日に発表された日本創生会議の試算では、2040年の時点で南伊豆町は消滅の可能性が高いと言われている。対策はいかがか。

町長　静岡県にある消滅可能性都市は11市町で、賀茂地域では河津町を除く全ての市町が該当しています。本町では移住セミナー、空き家バンク、首都圏での移住相談会といった移住者増加策のほか、子育て支援策として中学3年生までの医療費無料化、新生児に対する出産祝い金、不妊治療費助成などを含め、人口増加対策を実施しています。また、現在、町で取り組んでいる地熱資源活用によるまちづくりに関する一連の事業や石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画策定業務、吉祥町有地の利用計画策定業務、杉並区の特別養護老人ホーム、そして健康福祉センター建設等についても新たな産業の創出や雇用確保を目的の一つとし、最終的な人口増加を目指すものです。

質問　1月18日に商工会青年部伊豆地区連主催にて中伊豆ワイナリーで開催した「伊豆は一つ」事業で、2040年問題の増田寛也氏本人を招いて話を聞いた。詳細なデータに基づき間違いなく人口は減っていくが、現在の状況が続いたらという前提なので、伊豆縦貫自動車道路や地熱開発やワープステイの可能性を勘案すれば、今までの状況が我が町で続くとは思えない。過疎化が進んだ小さな町は地域の特色を出していかなければ生き残っていけないという考え方がある。地熱利活用に関する調査で、地下の状況が今年度でおおよそわかるはず。地方創生に関する地熱関連のプロジェクトチームを考えてはどうか。

町長　地熱に関しては、多くの情報を発信し続けている状況なので、住民の方々の理解がもう少しほしいところですが、地熱発電はベースロード電源としての価値観が世界的にも深まっています。プロジェクトの方向まで進めていけるといいなと思っております。

意見　地方創生についてはどこの自治体でもプレミアム商品券ばかりが目立っていて、生活支援型として地方消費型の中でもらえる部分だからとりあえず申請しておこうという内容だが、本来は地域先行型の事業の予算を取るべきであって、石破大臣のいわんとする「自治体各々で生き残りの方法を考えましょう。」とは、自分たちで事業を考えて自立できるようにすることではないかと思う。カンフル剤的に地域振興券を出し続けても、結局は地域でその瞬間だけ消費して終わってしまい、一過性のものになる。今持っている南伊豆町の潜在能力を事業化していくことが必要ではないか。国が地方創生に予算を用意している段階で、ぜひともこのチャンスを逃さないで進めていただきたい。

今後の伊豆縦貫自動車道路早期完成へ向けての取り組みについて

※質問し、答弁があった。

宮田和彦議員

まち・ひと・しごと

質問　「住みやすい南伊豆を築き上げるには、熱い開拓精神と継続して挑戦する攻めの姿勢が求められます。」若年層、女性が求める職種が知識集約型にシフトしていると考えられているため雇用に関するミスマッチがあげられます。若年層、女性雇用対策は。

町長　本町の総合戦略策定におきましてさらに若年層や女性の活躍の場の確保、向上を視野に入れて、地方においても関わることのできる地域集約型といわれる就業方法についても検討したいと考えます。その様な中で、光ファイバーやテレワークも考えていければと思います。

質問　地域内外の有能な人材を積極的に確保・育成し、地方への移住定着を促進するための仕組みを整備して地方での仕事にチャレンジができ、安心して子供を産み育てられるように結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目ない支援が必要と考えますが人材育成の基本的方向性は。

町長　移住者増加策による都市部からさまざまな知識や経験を持つ人材の流入、町商工会による新規事業起業家に対する各種助成金による支援策、新規就農者に対する支援等を実施し、人材確保に努めています。賀茂振興局とも連携を図り、さらに充実・拡大し、できる限り方策を検討したいと考えています。

質問　ＩＣＴ（情報通信機器）を活用した今後のイノベーションづくりは。

町長　新製品開発、新生産方法の導入、新マーケットの開拓、新たな資源の獲得、組織の改革と地域活性化の主要施策としては有効なものと考えます。ただし、まだ実証実験段階のものが多く、全国的に共通利用できるシステムが整備されていないことや、経費財政や必要な人材確保の観点、課題も多いと考えられますので、総合戦略を策定する際には光ファイバーの敷設の推進とともにそうした課題にも検討したいと考えています。

杉並区との特別養護老人ホームの介護職員確保について

質問　介護は４Ｋと言われ肉体的にきつい、排せつ物処理が汚い、ノロウイルスまたはインフルエンザウイルス等の感染による危険、給料が安いと、大変厳しい状況にあります。介護人材を取り巻く現状の認識と今後の取組は。

健康福祉課長　訪問介護のヘルパーは非常勤職員、施設等介護職員は常勤が主体ですが、離職率が高く他の業種と比べて勤続年数が短かく介護福祉士が、介護職として従事している方は約６割程度です。事業所の不足感も非常に強いと分析しています。また、27年度、プロポーザルで公募します要領の中には、人材確保についての方策等を評価する項目も考えています。しっかりとした公募要領等をつくり上げ、人材確保には万全を期す対応していきたいと考えています。

質問　県立高校に福祉科等、新設の要望は。

町長　実業高校的な方向性を考えていきたいと思います。県知事や県に対して嘆願していく考えです。

谷　　正 議員

まち・ひと・しごと　創生と南伊豆町

質問　過去の国等の地方活性化対策（政策）に対する考え、感想、検証は。

町長　過去には地方によって、いろいろ無駄遣いもあったとは思うが、国等が使途の自由なお金を与えれば創意工夫して行くのではないか。南伊豆町においては、地域活性化等に使用されている。下部構造に経済があり、経済が良くなれば上部構造の政治もうまくいくと思う。

質問　まち・ひと・しごと創生と南伊豆町の考え方、方向は。

町長　地域の実状に応じ、地方公共団体相互の連携による効率的かつ効果的な行政運営の確保という項目があり当然やらなければならないし、やる気がある地方には国は応援するとのことである。この基本理念に沿った地方総合戦略を作成し、新たな応援を勝ち取りたい。国は地方の独自性を出せば5年間は応援する。新しい形を創った自治体はさらに応援する。それでなければ応援しないと感じている。

質問　南伊豆町版人口ビジョンと地方総合戦略のイメージ・考え方、方向、考え方。

町長　国の総合戦略を勘案し、地方公共団体における人口ビジョンを分析し、地域住民と認識を共有し、目指すべき将来の方向と展望を提示することが期待されている。第5次南伊豆町総合計画の将来推計人口では、平成27年9,063人となっているが、2月1日現在で8,901人となっており、162人も少なく、人口減少が加速している。住民の結婚、出産、子育てに関する意識や希望の調査、高校、大学卒業後の地元就職率の向上、動向や進路希望の調査など、自然増減や社会増減等について、町民、議会及び有識者と充分意見交換し協議しながら進めていく。

南伊豆町の土砂災害対策

質問　南伊豆町の土砂災害対策〔土石流災害対策（砂防事業）・地すべり防止対策・がけ崩れ対策（急傾斜地崩壊）〕事業の状況、整備の方向、考え方。

町長　砂防防止法よる警戒区域134ヵ所、特別警戒区域108ヵ所の指定が終了し、急傾斜地崩壊防止施設57ヵ所、土石流防止施設14ヵ所の整備済となっている。今後もソフト、ハード両面で静岡県と連携し、急傾斜地崩壊対策事業、土石流防止対策事業を進め、町民の安全・安心のまちづくりを進める。地元負担金、自治体負担金の軽減を静岡県に対して出来うる限り要望していく。

質問　石廊崎地区の土石流対策（砂防事業）の進捗状況、今後は。

町長　説明は受けているが現場に行っていない。岩崎産業の同意がないので事業が遅れているとの認識があり、岩崎産業との和解を受けて事業の進展があると思っていた。他の地権者からの同意が取れない状況である。今後どのように解決していくか、石廊崎区とも調整・協議をし、反対の地権者へ出向き、事業実現を目指す。

横嶋隆二議員

地方創生・政策の背景・課題

質問　全国町村長大会で、明大小田切徳美教授は田園回帰の時代が始まると、日本創成会議とは別な発表をした。南伊豆町でも講演した大森彌氏も日本創成会議提言に、「自治体消滅のわな」と言及し、気をつけて提言を読む必要があるとした。小田切氏は、11年前、我が町議会が視察した全国の中山間地域振興のシンクタンク・島根県中山間地域研究センターのアドバイザーを務めている。地方創生を日本創成会議提言との関わりでどう認識しているか。

町長　国の案件であり、何とも申し上げようがない。将来人口を推計し経済・地域社会の課題について、総合的対策を講じるもの。日本創生会議に反論を述べる方々がいるのは事実。人口減少は事実。何もしなければ、自治体が消滅していくというのは正しい考え方。

質問　地方の疲弊は、農産物輸入自由化、大店舗法廃止などで農林水産業衰退・商店街崩壊による。農林水産業による地域資源活用で雇用と所得をつくり、医療介護の確保が大事。政府の消費税増税、残業代ゼロ法案、首切り自由化法案推進は、地方創生と逆行。本当に東京一極集中、若者世代の就労や結婚・子育て減少を変えられると思うか。

町長　国の政策にたいしてどうこいう立場は無い。学者の議論に、我々が賛否する問題ではない。市町村は、どうしても最終的には消滅可能性があるという議論。国は道州制を進め、果たして小さい自治体がどこまで自治能力を認められるのか。よく考えて、余りに議論が大きく本来こういう場でやる議論ではないと思う。

質問　国民の権利で自治体を運営するという自治権に対する姿勢か。

町民生活支援制度充実

質問　町民生活を下支えするため、リフォーム助成制度補助内容の拡充。子ども医療費助成制度の高校生までの拡充。人間ドックの受診助成制度実施。脳ドックの受診助成制度創設の検討を。

町長　財政担当と協議し、補助率や事業、予算などを検討。高校3年まで対象年齢引き上げの考えはない。人間ドックは、国民健康保険加入者を対象に新年度より再開する。脳ドックは、東伊豆、松崎町が実施。県内市町の実績等を調査し検討する。

地熱発電の諸問題

質問　住民同意に対する姿勢、配布した2月20日付試掘調査・構造試錐井反対決議書は、平成26年度は同意したが、27年度、2期目の試験掘削調査・構造試錐井に対して、以下の南伊豆町温泉協同組合役員は、断固として反対するというもの。1月23日には、下賀茂温泉旅館協同組合と静岡県旅館ホテル生活衛生同業者組合と一般社団法人日本温泉協会で、県知事宛に地熱発電開発に反対する地元要望が出ている。町長の足元の地域でこれほどの反対が起こっている。きっぱりとおやめになるべき。

町長　緑の分権改革で地熱資源の可能性がわかった。私は掘削、地熱資源開発事業を始めたい。10年ぐらいかかる。問題が起こった時点で事業は中止しようと思う。

清水清一議員

観光対策の将来像

質問　観光対策の今後はどのような計画でいくのか。

町長　海外にトップセールスでの台湾の、台湾オリンピック委員会などを訪問し、振興を深めた。台北から町内に宿泊の旅行商品が型になりつつある。今後、石廊崎の再生、町内を周遊ルートの再構築、観光の多様化、国際化に努めたい。

質問　みなみの桜と菜の花まつりの取り組みは。

町長　期間中30万人前後を集め、町も700万円の補助金を投入。駐車場活用し、来場された方から桜保全に協力金をいただいている。

質問　桜並木の栽培管理はどのような管理なのか。

産業観光課長　県の桜保護士が町に2名、県の職員と調査し対策を講じ実行、協会、町職員も参加。

質問　ボランティアで行った。桜の保護での集金した残りは預金してあるのか。

町長　昨年は、協力金として70万円位、観光協会のホームページ等でも多分公表はしている。

質問　収入に見合った管理をしたほうが、集金する場合、受けがいいのでは。

質問　銀の湯会館が今度休業する予定だ。町民は休業期間中どう対応するのか。

町長　約3億円と9ヶ月程度の工事を実施、休館で約6万人が利用できない。この期間、みなと湯の利用客数を伸ばすチャンスと捉える。

地熱資源開発の将来像

質問　地熱資源開発の将来像の考えは。

町長　町民の理解、温泉への影響がなく、発電の可能性が評価された場合、発電所を建設したい。

質問　理解促進事業、今後の予定は。

町長　ワーキング、勉強会、先進地視察、アンケート調査、広報等。平成27年度、地熱開発理解促進事業の活用、温泉関係者の同意で、地熱資源開発調査事業を活用し、温泉の湯質や蒸気の噴出を行わない構造試錐井掘削調査を進めたい。

質問　今年度申請する予定の書類の目的、内容は。

企画調整課長　地熱活用産業、温泉の変動調査、構造試錐井の掘削、概算で予算化、これから申請書をつくる。

質問　12月15日に中間報告がなされた。議会に開示したほうがよかったのでは。

町長　委託事業者に用意させ、議会にも用意する。

質問　主体は町だ。理解促進事業だけではなく、別の補助金も必要になってくる。

企画調整課長　関係部署で、補助金を検討し研究したい。

質問　ワーキンググループはＫＪ法という問題解決の手法を使っている。問題解決の手法を町民に教えて町が発展していくのではないか。

町長　非常にいい意見だ。

質問　地熱発電ができなかったとき、今ある温泉を活用していく考えなのか。

町長　町内関係者と検討してまいりたい。

質問　地熱で問題が起きたら発電所、工事等をやめると言ったが、何が問題か。

町長　掘削事業者が温泉に影響を与えるとかはわかる。その時点でやめたい。

質問　地下深部から、熱をとった場合、地表の温泉に熱が来ない。熱量が下がる。

町長　温泉モニタリングで変化が生じた場合はやめる。

未来を担う子ども達

広げよう　挨拶の輪

「子どもの声が聞こえなくなると寂しくなるね。」と地域の方々から惜しまれつつ、三浜小学校を閉校してから早くも１年が過ぎました。学校統合により子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しましたが、大人の心配をよそに新しい環境にも慣れ、多くの友達との学校生活を楽しんでいます。新生南中小学校として初めての卒業生もこの１年の大きな変化を思い出の一つとして胸に秘め、巣立っていくことができました。どんな変化にも柔軟に対応できる子どもたちを改めてたくましく思います。

日々交わされる挨拶は、こうした子どもたちの元気のバロメーターであり、朝のさわやかな挨拶は、一日のエネルギー源でもあります。本校では、３学期に児童会が企画した挨拶運動が展開されました。寒い中、玄関で挨拶を交わし合った後、各教室にもまわっていきました。その姿を見た下級生が、挨拶隊となって挨拶運動に加わり、元気な声を学校中に響かせてくれたので、気持ちのよい一日のスタートを切ることができました。

いつでもどこでも明るい挨拶ができるよう、また、学校だけでなく、家庭・地域にもさわやかな挨拶の声が広がっていくよう、心と心をつなぐ挨拶の輪を広げていきたいと思います。

南伊豆町立南中小学校
川合信子

あいさつ運動

みなみいず元気びと

南伊豆町商工会青年部

南伊豆町商工会青年部では、今年で3回目となる「軽トラ市in南伊豆」を、みなみの桜と菜の花まつりに合わせ役場駐車場にて開催致しました。当日は雨の降る中たくさんのお客様に訪れて頂き大盛況となりました。青年部では、南伊豆婚カツや軽トラ市などの地域活性化イベントを通して、南伊豆町や関係団体との繋がりを深めると共に、若手経営者の担い手・町の将来の担い手として、地域振興に努めております。

また、当青年部では部員募集も随時行っております。自社の活動の領域に止まっているだけでは、いずれはその発展にも限界が出てくる事もあると思います。

そんな時、不安や問題点などを気軽に話せる相手が同じ立場にある地元の事業者・部員であり、更に切磋琢磨し事業の発展を通し、町の活性化に寄与できるような組織にしたいと日々活動を進めております。

お問い合わせ：南伊豆町商工会（電）６２－０６７５

議会一口メモ

議員の資質等

議員は、住民の直接選挙によって選ばれ、住民全体の代表者として議会を構成し、議会活動を通じて、住民の個別意思を総合して、町や村の進むべき道標を構成していく任務を有している。これが議員としての地位の本質であると言える。

又、議員の身分は、町や村の特別職の公務員（一般の職員とは区別して取り扱う事とされる公務員）である。通常、当選の事実によって確定され、任務満了の日をもって失われるものである。

そして、議員の資質について、本来議員は住民の代表で、町や村の意思を決定していく重大な職責を担っており、その職務遂行の為には、当然にその地位に相応しい品位・威厳を保持していなければならない。同時に各会議において、合理的・能率的な審議に協力をし、秩序維持に努めていく必要がある。

今後の議会選挙では、立候補者各々の資質を充分に配慮すべきである。

（吉）

くろ潮

四月の統一地方選挙の中でも何度も耳にした「地方創生」。過疎化の進む地方市町では「中央がやっと重い腰を上げてくれたか…。」との心境ではないか。政府は四千二百億円の交付金配分を決定。「地域消費喚起型」の交付金では個人消費を刺激する、いわゆる「プレミアム商品券」の発行に活用する自治体が多いようだが、観光・産業振興等を対象とする「地方創生先行型」の交付金こそが、本来の「地方創生」の目的を果たすものだと思う。石廊崎の再生や地熱エネルギー利活用を進めるわが町には、ありがたいキーワードになりそうだ。

勇往邁進（加）